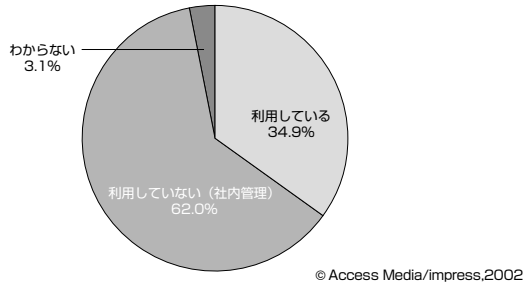


## 第4章 企業

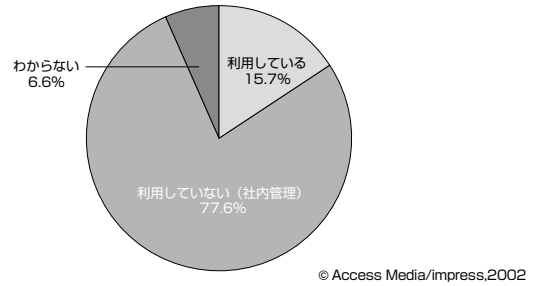
### サーバーの外部運用

### 社外向けは38.3%が外部運用

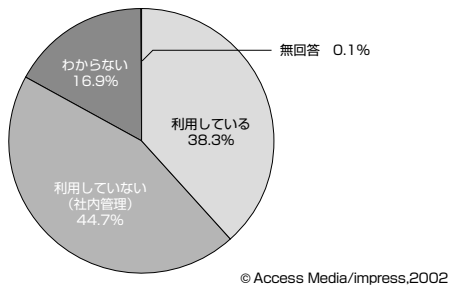
資料 1-4-20 メールサーバー/外部の運用管理サービスの利用有無 N=1,725



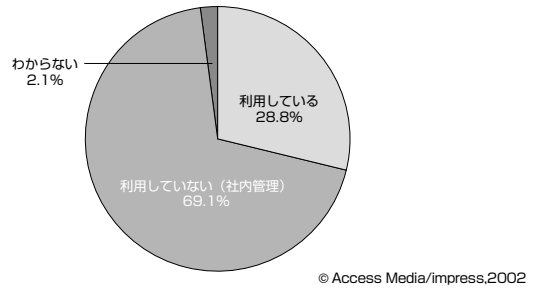
資料 1-4-21 社内向けウェブサーバー/外部の運用管理サービスの利用有無 N=1,429



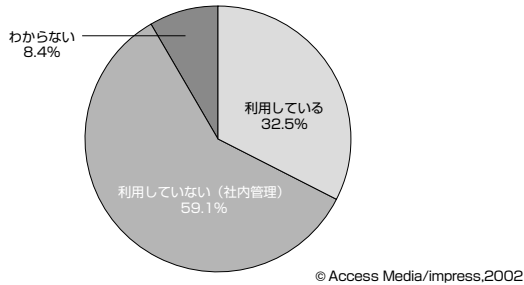
資料 1-4-22 社外向けウェブサーバー/外部の運用管理サービスの利用有無 N=1,641



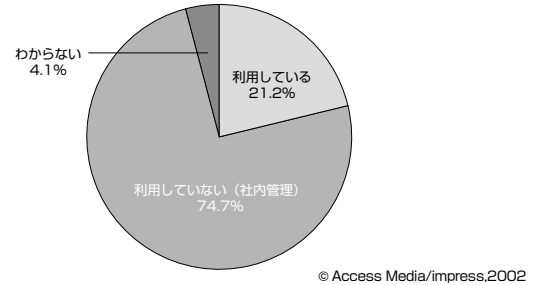
資料 1-4-23 コマースサーバー/外部の運用管理サービスの利用有無 N=243



資料 1-4-24 ストリーミングサーバー/外部の運用管理サービスの利用有無 N=203



資料 1-4-25 その他サーバー/外部の運用管理サービスの利用有無 N=217



## 解説

### ■サーバーの外部運用

サーバーの管理者同様、今年初めて企業が利用している各サーバーの種類ごとに、外部の運用管理サービスを利用しているかどうかについて聞いたのが資料1-4-20～1-4-25である。

「利用している」比率が最も高いのは、社外向けウェブサーバーであり、逆に「利用していない」比率が高いのは、その他のサーバーを除くと社内向けウェブサーバーである。

社外向けウェブサーバーについて外部の運用管理サービスの利用率が高い理由

としては、先にもみたように、社外向け情報発信という位置付けの場合、一般に情報システム部門以外の広報宣伝部や経営企画室、総務部といった管轄であることが多いと同時に、外部の広告会社、PR、コンテンツ制作会社への外注率が高いことが推測できる。また、社外向けウェブサーバーは24時間ノンストップで運用することが必要とされるため、一般的な企業の勤務体系内で管理下に置くことが難しい点からも外注率が高いことが推察される。

一方、社内向けウェブサーバーの運用

で外部が使われにくい理由としては、社内の情報共有に利用されている場合、企業心理として外部に出したくないことやセキュリティ確保のための専用線(VPN)との併用が必要となるなど、利用のハードルが高いためと推察される。



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)